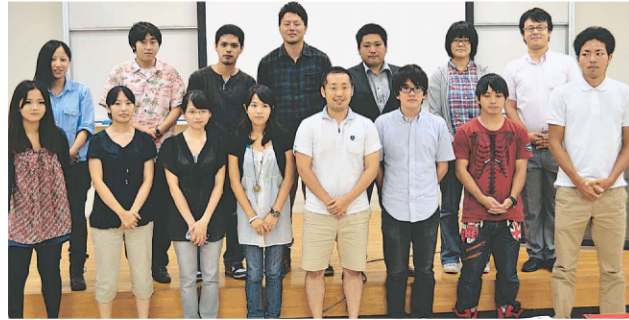


東北Rokuプロジェクトリーダーの島田昌幸さん（前列右から4人目）とプロジェクトに参加する学生ら＝27日、琉球大学



被災地の経験 沖縄に生かす

県内大学生プロジェクト 復興作業に参加



被災地での復興支援活動を若者の人材育成に生かそうと、県内で地域おこしを行うNPO法人エクスブリッジ（浦添市）は「東北復興支援学生ボランティアプロジェクト」を28日にスタートさせる。

同日から9月5日まで県内の大学生ら14人を宮城県に派遣する。学生らはビニールハウス農家の復興作業などに参加する。終了後、事後研修や発表会を重ね、被災地の経験を沖縄の問題解決に生かす。

27日、受け入れ団体の一つである「東北Rokuプロジェクト」リーダーの島田昌幸氏（28）を琉球大学に招き、講演を行った。島田氏は被災地の活動を報告し「復興には雇用が大事。雇用の創出につながる復興活動が重要だ」と訴えた。

同法人の今津新之助代表理事は「失業率の高さなど被災地の課題と沖縄の課題は共通点がある。沖縄に戻ってからは、復興支援の経験を生かしてほしい」と激励した。

プロジェクトに参加する沖縄国際大学4年の若山啓太さん（23）は「現場での経験を生かし、沖縄で何ができるかを考えたい」と決意を語った。